



今年も夏期通水が始まりました

今年も5月下旬に群馬県内でも35度を超える猛暑日をはじめ計6地点で5月の観測史上最高を記録するような暑さの中、夏が始まろうとしています。

群馬用水では、これから水田など農業に使う水が増えてくることに対応するため、毎年5月16日と6月1日の2段階で水路に流す水を大幅に増量させる夏期通水への切り替えを行っています。

夏期通水は、9月下旬までの期間になりますが、水路の水が一気に増える5月16日と6月1日は、今まで水路に沈んでいた落ち葉やゴミ、水草などが巻き上げられて、水路を詰まらせる原因となるなどとりわけ注意が必要な時期になります。また、群馬用水には、水路の水位を一定にして水をとりやすくするためのチェックゲートがありますが、流量が大きく変わるので、このチェックゲートを操作する必要があります。

そのため、群馬用水管理所では、増やした水がしっかり下流に届くように、毎年5月16日と6月1日は早朝より職員総出で水路内のゴミの除去とチェックゲートの操作、施設点検等を行っています。

今年は、昨年度に利水者の方々のご協力のもと通水を一時的に停止させていただき、普段通水しながらでは取り除けない水路底に堆積したゴミや土砂などを事前に撤去したこともあり、通水の阻害になるようなゴミも少ない状況の中、順調に水路末端まで増やした水を届けることができ、無事に夏期通水をスタートさせることが出来ました。

群馬用水は、関係者のご協力を賜りながら、安定的で良質な用水の供給に努め、今年6月で通水開始50周年を迎えます。

これからも24時間、365日農業用水と水道用水を安定して通水できるよう努めて参りますので、引き続き皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



田畑を潤すためにたくさんの水が下流へ流れていきます。



昨年に比べゴミが少ないとはいえ除塵作業は欠かせない作業です。



増やした水が上流から流れ着いたかを各地点の水路の壁につけられた目盛りを見て確認しながら、チェックゲートを操作します。

